



三菱IHクッキングヒーター据付説明書

ビルトインタイプ(单相200V)【家庭用】

形名
 200V・30A機種
CS-G20K
CS-G20AKS、CS-G221AKS
 (見まもりセンサー機能あり)
CS-G20AKSRT
 (見まもりセンサー、レンジフード連動機能あり)

据付される方へのお願い

- 据付の前に必ずこの説明書をお読みになり、正しく安全に据付けてください。
- 設置場所が常に水平で安定していることを必ず確認してください。
- 据付完了後に試運転を行い、お客さまへ正しい使い方をご説明ください。
- この説明書では、イラストを簡略化しておりますので製品と一部異なります。
- この説明書は必ずお客さまにお渡しください。
- ガス事業者への連絡をせずにガス工作物(ガス配管、ガスメーター、ガス栓等)を無断に撤去することは法令により規制されておりますので、事前にガス事業者への連絡が必要となります。

1 安全のために必ずお守りください

■誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を次の表示で区分して説明しています。

■図記号の意味は次のとおりです。

 警告	死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの
 注意	軽傷または家屋・家財などの損害に結びつくもの

 禁止	 接触禁止	 アース線接続
 分解禁止	 指示に従う	

警告

 絶対に分解・改造は行わない 発火・異常動作してけがをするおそれがあります。 ※トッププレートを取り外さないでください。 ※電源コードの直付けはしないでください。	 据付は、この「据付説明書」に従って、確実にを行う 据付に不備があると、漏電・火災の原因
 トッププレートに衝撃を加えない 万一ひびが入ったり割れると、過熱・異常動作・感電の原因 ※トッププレートの上に乗ったり、物を落としたりしない。	 電気配線工事は、「電気設備に関する技術基準」および「内線規程」に従って電気工事士が施工し、必ず専用回線を使用する 接続・固定が不完全な場合、漏電・火災の原因
 200V・30A以上の専用回路と漏電しゃ断器を設置する この工事をしないと、配線部が異常発熱するおそれがあります。	 アース接地工事は、「電気設備に関する技術基準」および「内線規程」に従って電気工事士がD種接地工事を行う 漏電時に感電のおそれがあります。

注意

 試運転中は、トッププレートやグリル扉など高温部に触れない やけどのおそれがあります。	 据付前にグリル受け皿とグリルあみをグリル庫内から必ず取り外す 据付時、グリル受け皿とグリルあみの落下によりけがの原因
 ワークトップの材料は、耐熱材料のものを使う 熱硬化性樹脂化粧版(JIS K 6903)またはこれと同等以上のもの。 耐熱性の低い材料を使用すると、変形・火災の原因になります。 ※ニス引きのものは変色するため、使わないでください。	

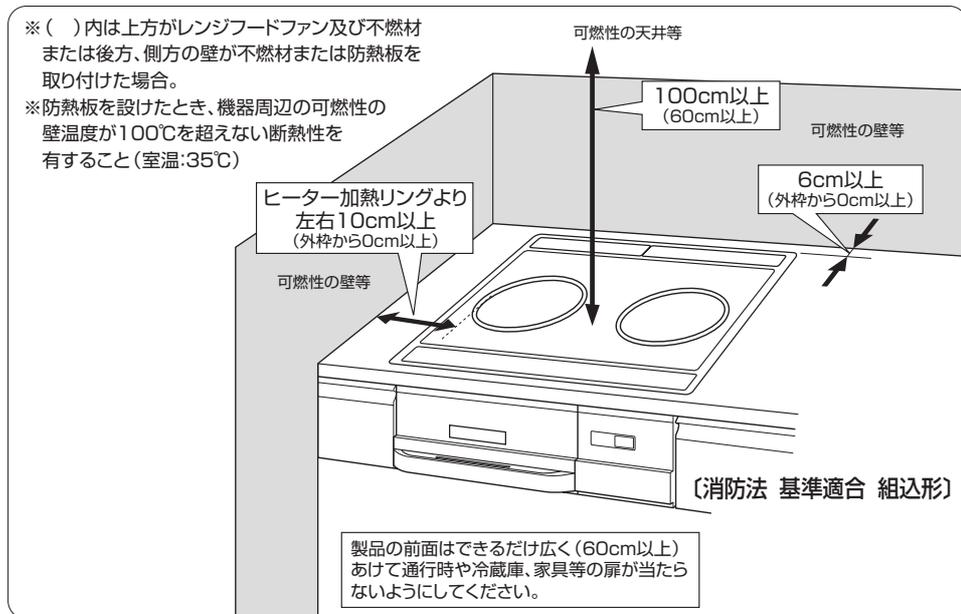
2 設置場所の確認

本IHクッキングヒーターは、日本電機工業会自主基準で制定された『特定の安全性を備えた調理油過熱防止装置付電磁誘導加熱式調理器の設置に関する自主基準 (HD-134)』において『特定安全IH調理器』として適合した製品です。

火災予防条例、電気設備技術基準に従って設置してください。

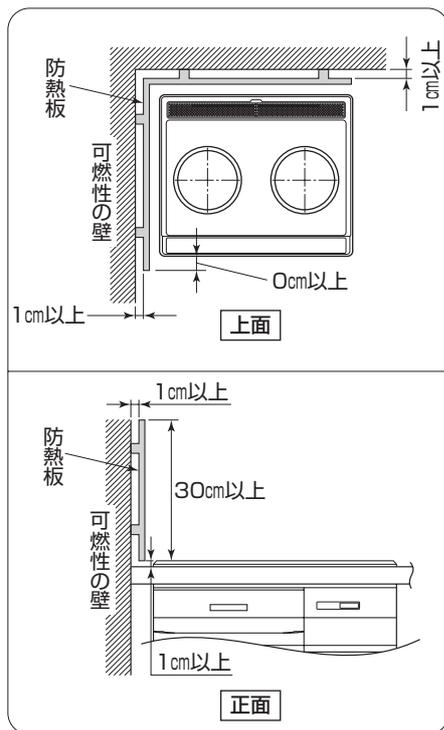
壁・天井等からの距離

■周囲が可燃性の壁の場合 (防火構造壁以外)



■可燃性の壁から、左記の距離を離して設置できない場合

●防熱板を取り付ける

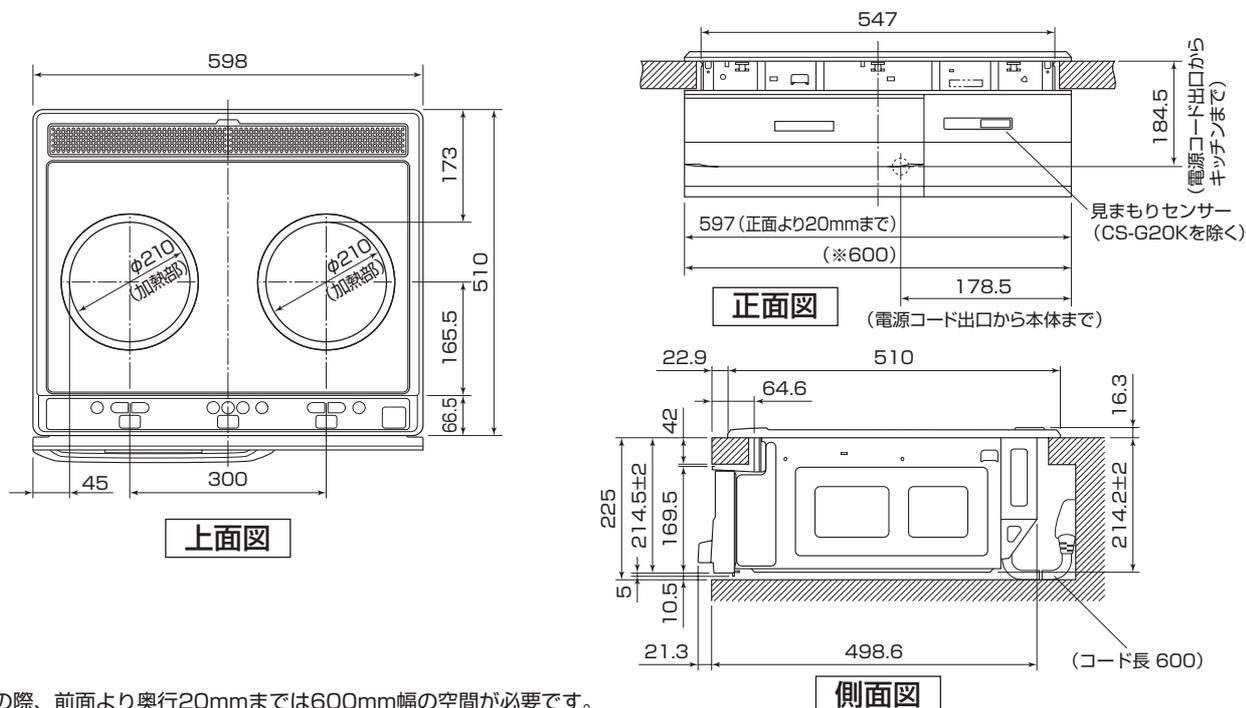


お願い

製品の金属部がシステムキッチンの金属部と接触する場合は建造物の壁中の金属 (メタルラスなど) とシステムキッチンの金属部を接触しないようにするか、または、製品の金属部がシステムキッチンの金属部に接触しないように取り付けてください。(電気設備技術基準で危害なきよう設置することが定められています。)

3 製品外形寸法図

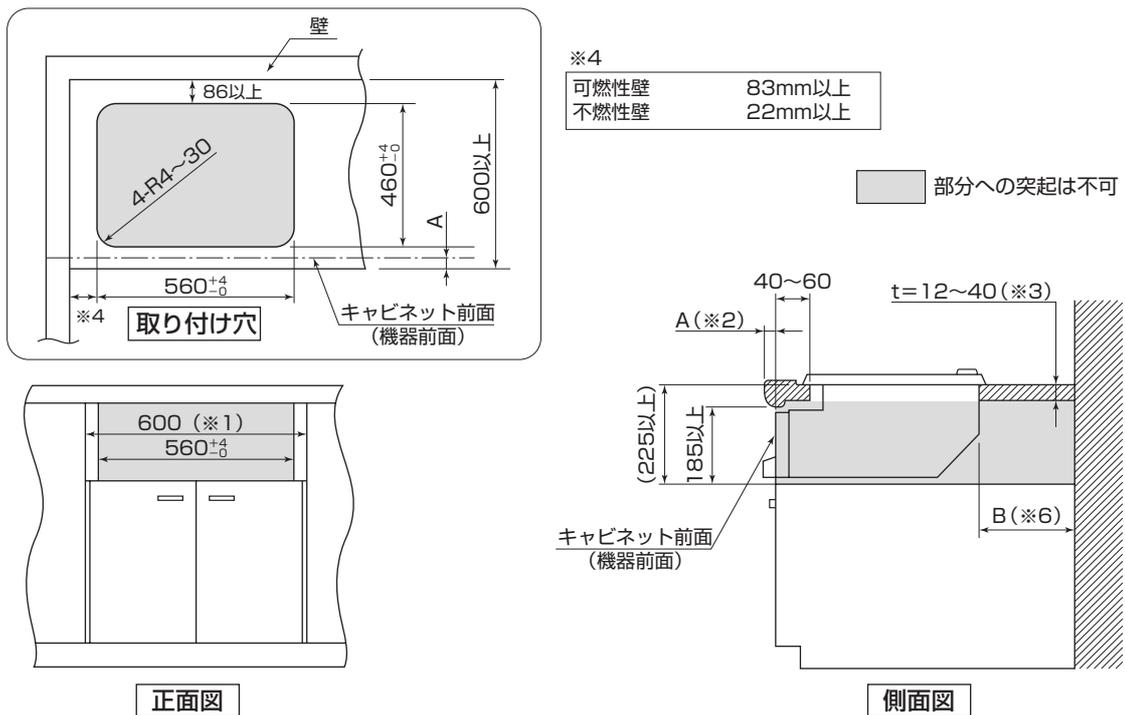
単位: mm



※据付の際、前面より奥行20mmまでは600mm幅の空間が必要です。

4 システムキッチンとの関係寸法図

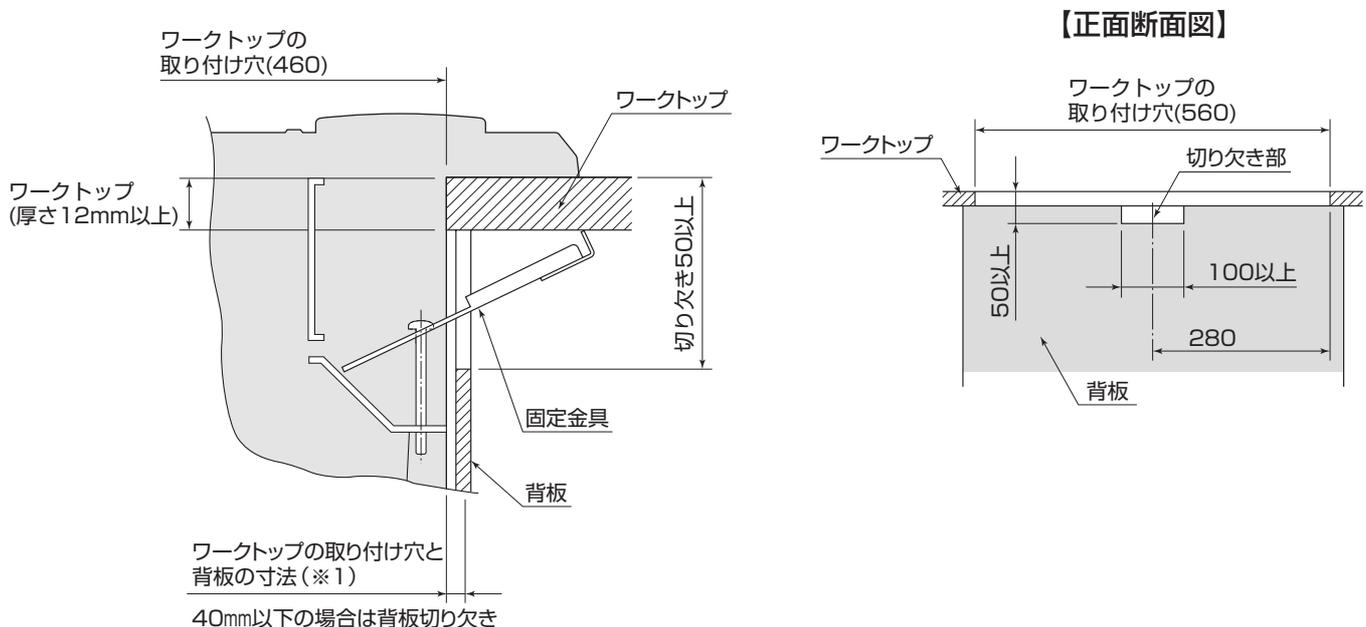
単位：mm



- ※1 据付の際、前面より奥行20mmまでは600mm幅の空間が必要です。
- ※2 A寸法はワークトップ前面とキャビネット前面（機器前面）との差です。
- ※3 ワークトップの厚みが薄いと（12mm以下）、固定金具が固定できません。その場合は当て木を添えてください。→P.7 手順4参照
- ※4 取り付け穴と壁の距離については上記図中参照ください。
- ※5 本体底面孔をふさがないように225mm以上の高さが必要です。
- ※6 B寸法は、ワークトップ取り付け穴と背板の寸法で80mm以上あればパナソニック電工製の露出コンセント（WK36301B）が使えます。

キャビネットの後方に背板がある場合

■ワークトップの取り付け穴と背板の寸法（※1）が40mm以下の場合、固定金具が通るように背板に切り欠きを設けてください



専用回路と漏電しゃ断器の設置

■電源にブレーカー付きの専用回路を設置する

- 200V・30A以上の専用回路を設置する。
- 電源は必ず「单相3線式 200V」を使用する。
- 三相200V（動力電源）には絶対に接続しないでください。（故障の原因）
- 屋内配線用電線は、線径φ2.6mm以上のものを使ってください。

■漏電しゃ断器を必ず設置する

【推奨漏電しゃ断器】

定格電流30A、感度電流15mA

パナソニック製：BJS3022N（HBモジュール）

BSHE23022（コンパクトタイプ）

コンセントの設置

単位：mm

■電源コンセント……………单相定格250V・30A（一極接地用）

※推奨コンセント パナソニック製：WK36301B（露出型）

WK3630（露出型）

WF3630B（埋込型）

- 電源コードの直付けは絶対にしないでください。

※直付けは製品の改造となり、故障や損傷の場合、保証期間内でも有料修理になります。



■コンセントの位置（例）

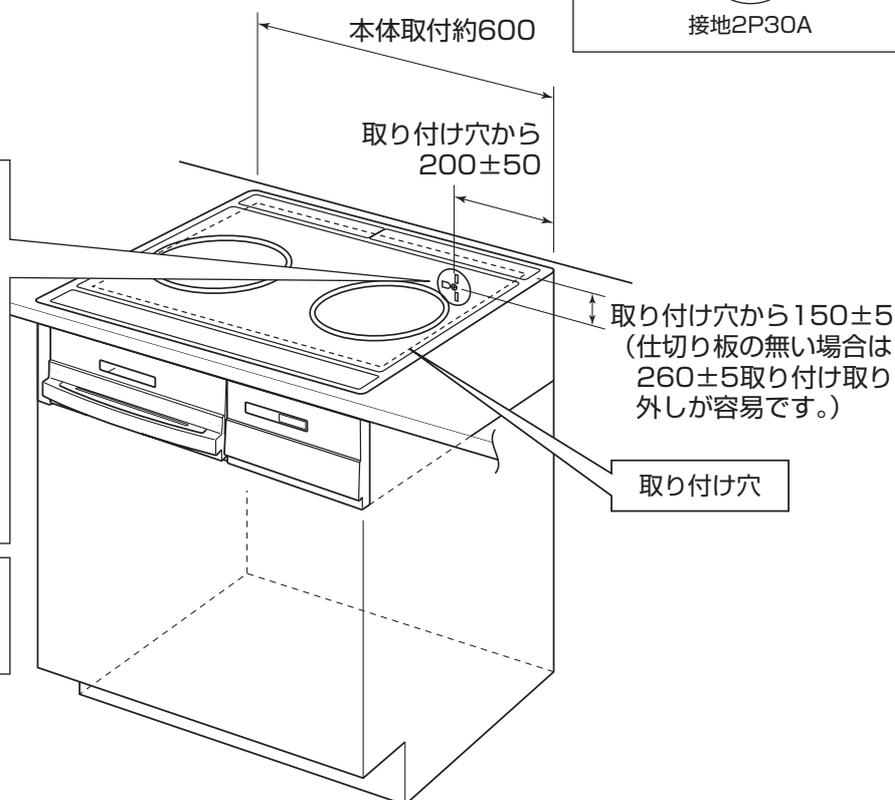
システムキッチン背面の壁のこの位置にコンセントを設けてください。

【コンセントの向き】



※コンセントの向きに注意してください。
コードがキャビネットにあたります。

※本体底面に仕切り板がある場合は、背面に余裕のある場所に配置してください。



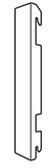
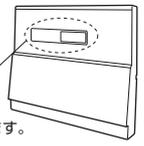
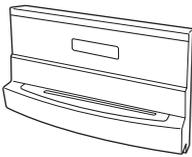
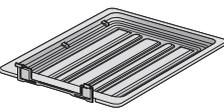
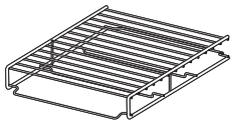
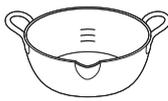
6 据付する (※CS-G20AKSにて据付説明を行います。)

据付前の準備

■包装材料を取り外し、同梱品を確認する

- 取扱説明書、保証書があることを確認してください。
- グリル受け皿内・グリルあみの包装材を取り除いてください。

※チェック欄は同梱品確認用としてご利用ください。
(例☑)

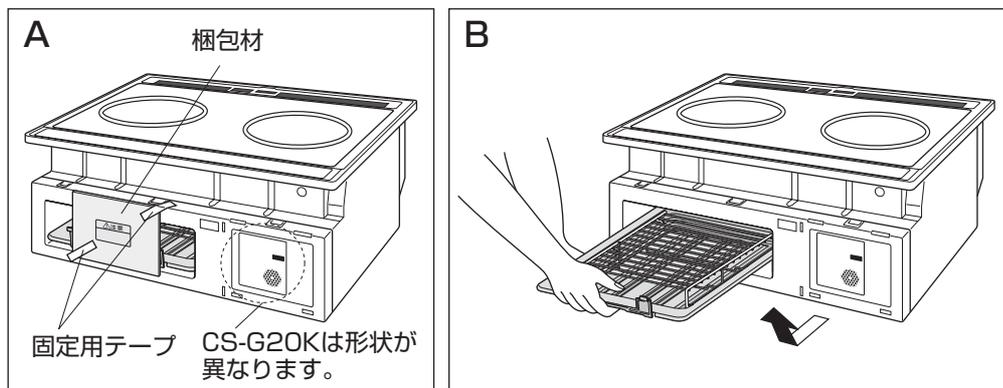
<input type="checkbox"/> 上ルーバー 1個 	<input type="checkbox"/> 左サイドカバー 1個 	<input type="checkbox"/> 右サイドカバー 1個  CS-G20Kは形状が異なります。
<input type="checkbox"/> グリル扉 1個 	<input type="checkbox"/> グリル受け皿 1個 	<input type="checkbox"/> グリルあみ 1枚 
<input type="checkbox"/> 吸・排気カバー 1セット (2個) 	<input type="checkbox"/> 専用天ぷらなべ 1個 	

■グリル前面の梱包材を取り除く。(A図)

- 固定用テープをはがす。
- 梱包材を引き出す。

■グリル受け皿・グリルあみを取り外す (B図)

- グリル受け皿を持って引き出し、グリルあみを支えながら斜め上方に引き上げる。



⚠ 注意



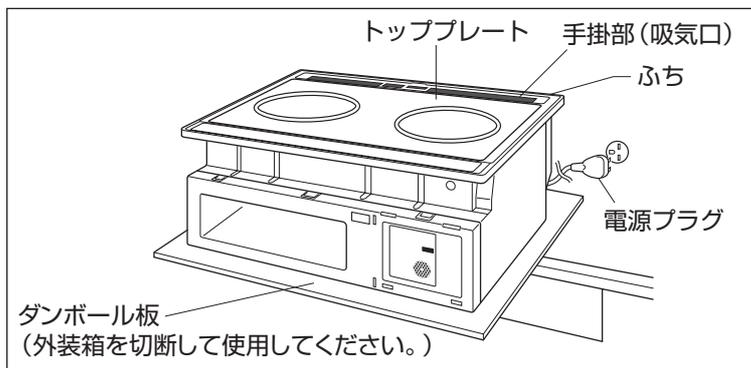
据付前にグリル受け皿とグリルあみをグリル庫内から必ず取り外す
据付時、グリル受け皿とグリルあみの落下によりけがの原因

本体の据付 (ブレーカーを“切”にして据付を行ってください。)

1 電源プラグを差し込む

- 本体はトッププレートのふちや手掛部を持ち取り扱ってください。
- ワークトップに傷を付けないように包装用のダンボール板を敷いてください。

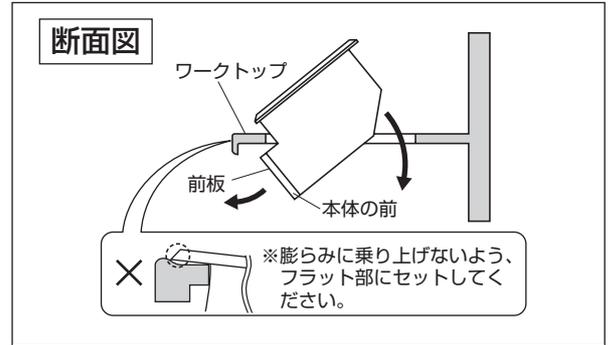
※トッププレートは外さないで設置してください。



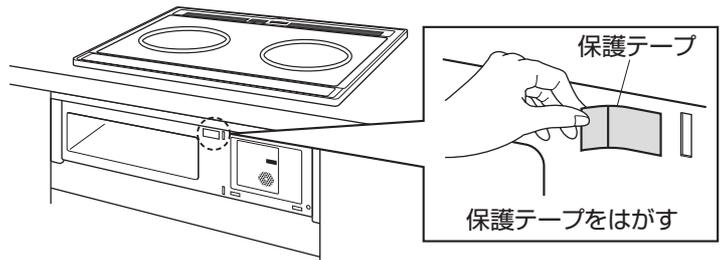
2 ワークトップに本体の前面を挿入してから全体をはめ込む

- はめ込み時は、前面部をワークトップに当てないでください。
- 本体の前面とワークトップのすき間が、前後左右で均一であることを確認してください。
 (本体挿入時に、電源コードが本体底面とキャビネットの間に挟まると、本体が浮いてすき間が生じます。)

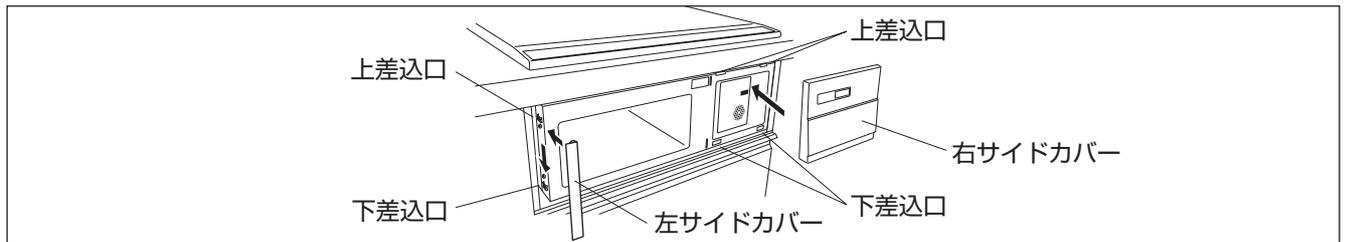
※トッププレートは外さないで設置してください。



- キッチン据付後保護テープをはがしてください。



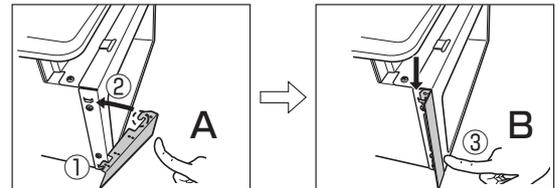
3 左・右サイドカバー、上ルーバーを取り付け、本体の位置を調整する



(1) 左サイドカバー取り付け方

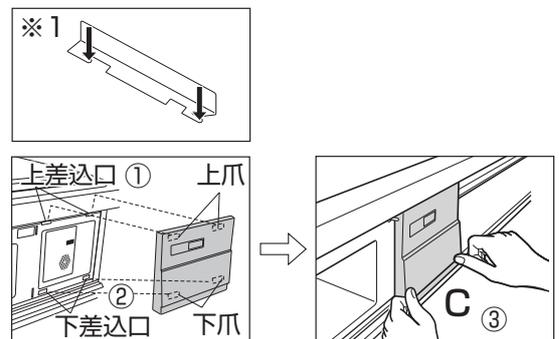
- ① 下爪を下差入口に引っ掛ける。
- ② A部を押し左サイドカバーを起こす。
- ③ B部を押し左サイドカバーを落とし込む。

※詳細は、別紙取り付け要領図をご覧ください。
 ※1 入れづらい時は矢印方向に少し爪を曲げると入れやすくなりますので調整して下さい。



(2) 右サイドカバー取り付け方

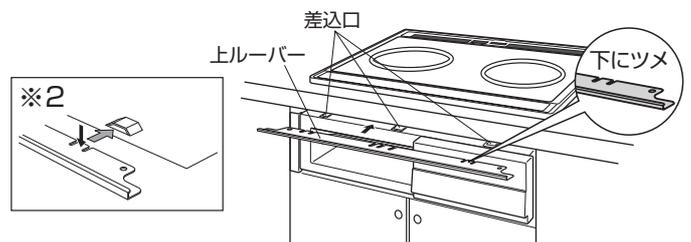
- ① 上差入口に上爪を引っ掛ける。
- ② 下爪を下差入口に引っ掛ける。
- ③ 右サイドカバーの前面C部を音がするまで確実に押し込む。



(3) 上ルーバー取り付け方

グリル枠上の差入口に上ルーバーを取り付ける。

※2 上ルーバーをセットして、確実に固定されていることを確認してください。ゆるいときはツメを下方に少し曲げるだけで、固くなりますので調整してください。



(4) 本体の位置調整

- ① 左右サイドカバーとキャビネットの左右側面とのすきまが均一になるように、本体の位置を調整する。
- ② キャビネットの前面(扉面)に本体の上ルーバー面が合うように本体の位置を調整する。

4 固定金具でワークトップに本体を固定する。

1. 吸・排気カバー受けを取り外す

2. 固定金具のネジをいったんゆるめ、ドライバーの先端を固定金具の穴に差し込み矢印方向へ通す

3. ネジを確実に締めつけ固定する (締めつけトルクは0.4Nmとする)

4. 吸・排気カバー受けを取り付ける

固定金具位置

ワークトップの厚みが薄くて、固定金具が固定できない場合は、図のように当て木を添えてください。

※フレーム天面から吸・排気カバー受けが飛びだしていないことを確認する

吸・排気カバー受け取付け
最初に後ろ側を引掛け円弧運動を行ない取り付ける。

5 吸・排気カバー、グリル扉 (グリル受け皿)、グリルあみの取り付け

- ① 吸・排気カバーを取り付ける。
- ② グリル扉とグリル受け皿を取り付ける。

① 扉の凹部 (2カ所) を受け皿のツメ (2カ所) に差し込む

② 扉を、矢印の方向にカチッと音がするまで動かす

③ 吸・排気カバー

③ グリル扉 (グリル受け皿)、グリルあみを取り付ける。

グリルあみをセットするとき、向きに注意する。

奥側
手前側

- ③ グリル扉 (グリル受け皿)、グリルあみを取り付ける。
- グリル受け皿の左右を庫内の底部に添わせ、斜め上からはめ込んでください。

7 別売部品について

■ 据付高さによりキャビネットとの間に隙間ができる場合に必要です。

隙間かくし上ルーバー

品名	色	製品寸法 奥行×幅×高さ (キャビネットの隙間)
CS-ZTM10	シルバー	43×595×16mm (10mm)

※同梱品の上ルーバーをはめた状態での隙間を示します。

隙間かくし下ルーバー

品名	色	製品寸法 奥行×幅×高さ (キャビネットの隙間)
CS-ZUM9	シルバー	25×597×5mm (9mm)
CS-ZUM25	シルバー	25×597×20.5mm (25mm)
CS-ZUM50	シルバー	25×597×45.5mm (50mm)

本製品を購入された販売店へお問い合わせください。

※詳細は各別売部品添付の取付要領図をご覧ください。

8 据付後の確認

■据付完了後、次の手順で内容を確認し、チェック欄に○印をしてください。

確認項目		チェック
梱包材の取り外し	トッププレート上、グリル内部等	
同梱品などの取り付け	吸・排気カバー、グリル受け皿、グリルあみ、上ルーバー、左サイドカバー、右サイドカバー、グリル扉	
付属品、書類など	専用天ぷらなべ、取扱説明書、据付説明書、保証書は必ずお客さまにお渡しください。	
外観	トッププレート部のフレームに浮きがないか？	
	本体前面に傷が付いていないか？	
電気工事	アース（D種接地工事）が行われているか？	
	漏電ブレーカーが設置されているか？	

確認試験	確認内容	表示内容
確認試験	①電源電圧が単相200Vであることを必ず確認する。 ②ブレーカーを「入」にする。	●電源ランプ、見まもりセンサーランプが点灯する。 (CS-G20Kは電源ランプのみ点灯)
	③電源スイッチを「入」にする。	・専用天ぷらなべを使い動作確認を行ったときは必ずよくふいてください。 ・専用天ぷらなべに水をいれて揚げ物動作をしないでください。 エラー：U4がでます。
	④各ヒーターの動作確認をする。 ■左右IHヒーター（お湯を沸かして確認） ①IHヒーターの上に、水を入れたなべを置く ②「切入」を押す	②IH切入ランプ、火力表示ランプ（青色）が点灯する。 (CS-G20KはIH切入ランプのみ点灯) ※CS-G20AKSRTはレンジフードの運転がはじまる。 (すべてのヒーターが停止すると、一定時間後にレンジフードが自動停止します。)
	③「強く」を押す ※なべを置かないで操作をすると、「なべなし自動停止機能」が働きます。 火力表示ランプ「1」、「3」、「5」、「7」が点灯します。 (約1分後に自動的に通電が切れる)	③火力ランプが火力4まで点灯し、なべが加熱されお湯が沸く。 トッププレートの火力表示ランプ「1」、「3」、「5」、「7」が点灯する。
■グリル（グリル扉を閉じた状態で） ①グリルの「切入」を押す。 ②「手動」を押す。	①トッププレートの切入ランプが点灯する。 ②「グリル高温注意」「グリル調理中」「グリル火加減「標準」」が点灯する。 ●約1分後にグリル庫内が熱くなる。	

※連動システム対応型レンジフードを設置した場合は、レンジフードと連動することを確認してください。(CS-G20AKSRTのみ)レンジフードによっては初期設定が必要となります。レンジフードの説明書もご確認ください。

確認試験後は、必ず電源スイッチを「切」にしてください。

電源を切っても高温注意ランプ点灯中は見まもりセンサーLEDが点灯しています。(CS-G20Kを除く)

【総消費電力の切り替えについて】

本製品は、総消費電力を5600W（工場出荷時の設定）・4800Wの2段階に切り替えることができます。アンペアブレーカーの容量不足の場合などで、ご使用上不便があるときに選べます。

●切り替え方法

※手順を間違えた場合は、必ず電源スイッチを「切」にしてから、手順1からやり直してください。

操作の方法	表示内容
1. 電源スイッチを「入」にする	1. 右IHヒーターの電源ランプが点灯する。
2. 左右IHの「強く」を同時に約3秒押す	2. 右IHヒーターの切タイマー表示部に数字が点灯する。
3. グリルの「手動」を約3秒押す	3. 右IHヒーターの切タイマー表示部に「56」が点灯する。
4. 右IHの「弱く」または「強く」を押す	4. 右IHヒーターの切タイマー表示部が「48」に切り替わる。
※約1分間操作しないと、電源スイッチを「入」にしたときの表示に戻ります。手順1からやり直してください。	—
5. 右IHの「切入」を押して決定する ※決定後、約1分間経過すると表示が消えます。 ※決定しないまま約1分経過して、電源スイッチを「入」にしたときの表示に戻ってしまったときは、設定変更はされていません。手順1からやり直してください。	—
6. 電源スイッチを「切」にする	—

据付年月日	年	月	日
据付店名	TEL		



三菱電機株式会社
三菱電機ホーム機器株式会社
〒369-1295 埼玉県深谷市小前田1728-1

愛情点検

ZT790Z782H11K

お客さまへ……おぼえのために、据付年月日、据付店名を記入されると便利です。